

フレッシューズゼミB	担当教員共通 教授 新井健司・講師 鈴木穰(科目主任)
------------	--------------------------------

1. ゼミのねらい・概要

本科目は、所属ゼミ生と担当教員、あるいはゼミ生相互の交流を深めるとともに、大学での学修の要諦である専門ゼミ、卒業研究への導入、および本学在学中のキャリアアップの動機づけとしての役割を果たすことを目途に設けられた1年次の必修科目である。コース独自の教育内容を行う柔道整復師コースを除くゼミの全担当教員共通の下記の指針により実施される。

- ①与えられた、あるいは自ら考えた課題をまとめるために必要な情報を収集・取捨選択し、それを口頭報告のレジュメ、レポートの作成へとつなげていくための能力を養う。
- ②学生生活において、日常的に求められる日本語能力を養う。
- ③就職活動を行う際に必要となる基礎的な数的理解力・一般常識を養う。

2. ゼミ計画

1. 後期顔合わせ・履修指導	9. }
2. 辞書語彙②身体・数字を使った表現※	10. }
3. 新聞語彙⑦情報社会※	11. } プレゼンテーション能力を養う
4. 新聞語彙⑧災害大国※	12. } ゼミ担当教員の指示により、口頭報告のための資料
5. 新聞語彙⑨先端医療と倫理※	13. } 収集、レジュメの作成方法、発表の手順等を学ぶ。
6. 新聞語彙⑩高齢化と医療制度※	14. キャリアアップのための指導 第2回(全体ゼミ)
7. 新聞語彙⑪未来の食卓※	15. 1年次の振り返りと次年度の計画
8. 「読解力」を養う※	

※は、主にテキストをメインとする授業内容。ただし、それ以外でもサブ的に使用する場合があるので、テキストは毎回必ず持参すること。このほか、簡単な数学の解法の手引きも数回、毎回20分程度の時間で行う。なお、14.は担当者の都合により開講コマを繰り上げて実施する場合がある。

また、9.～13.については、一連の流れについて、個別発表や担当教員によるレクチャーなど各ゼミ固有の指導が行われることになる。詳細は担当教員の指示に従うこと。留学生所属のゼミについては、前期同様に上記の他に日本語能力向上のための指導を合わせて行う。

3. 到達目標

2.に挙げたテキストの内容について理解を深める事、および担当教員・ゼミ生との良好な人間関係が構築できること。口頭報告を行うための資料収集、レジュメ作成、発表の手順等を理解すること。

4. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

テキスト、あるいは担当教員からの指示事項について毎回30分以上の予習、復習を行う。

5. 成績評価の方法・基準

本科目は、テキストを使った全ゼミ共通で行う内容と、各ゼミ担当教員がそれぞれの専攻分野を生かした独自の内容を行う部分から構成される。前者については、定期試験の際に実施される共通テストの点数により、後者については授業時間中の課題に対する取り組み、グループ学習における参加状況等を勘案して総合的に行う。

6. テキスト・参考文献

テキスト：『語彙・読解力検定公式テキスト 合格力養成BOOK』、朝日新聞社・ベネッセコーポレーション編

参考文献：ゼミ担当教員から適宜紹介される。

7. 受講上の留意事項

本科目で使用するテキストを携行していない場合には授業に参加することができない。したがって、テキストを持っていない受講生は授業の出席を認めない。テキストは必ず購入し、毎回持参すること。このことは、テキスト付属の解答・解説についても同様である。なお、学期内にすべてのクラスが合同で行う全体集会(セミナー・説明会等)が行われることがあるが、その際には遅くとも授業開始5分前には、入室・着席すること。遅刻すると入室できない場合がある。